

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牛島委員 石澤主幹	<p>幼稚園のところから説明をお願いします。</p> <p>幼稚園ですが、基本的に就園の支援と教材・研修に関する支援の主な取組は記載しているとおり2つの項目でかわらない。保護者に対する私立幼稚園の就園支援の拡充により、負担軽減を図り幼児教育の推進を図る。地域幼稚園振興事業として、町が継続して教員の研修費、園児の教材費の一部を補助する。</p> <p>ただ、教員の中でも話しされているが、子ども子育て新制度に移行された場合には、教育委員会から民生に移行されるかと思うが、現在、藤幼稚園が新制度に移行されている。</p> <p>小中学校の教育環境の充実で、学校備品・教材等の整備充実ですが、教育の根幹に係る部分ですので、継続して充実を図っていく。美幌中学校は移転したので、前計画は削除。</p> <p>新たに付け加えた項目ですが、ICT教育の環境整備を図って行くこと。学校のニーズ取り入れたに応じたICT教育環境の充実でタブレットや電子黒板など取り入れることを入れた。</p> <p>複式校の項目については、削除した。</p> <p>経済的な理由で教育を受けることが困難な家庭で就学に必要な援助をしていくことを計画に明記していく。</p> <p>小中学校の教育内容ですが、地域資源を活用した教育の充実で、水泳、スキー、スケートの競技団体から講師を派遣いただき効果的な授業を進めていく。</p> <p>新規の項目として、体験型の学習による自然体験で、ふるさと教育や産業教育でのキャリア教育の促進を図るなど、外部指導者を活用し土曜日の開催を検討する。</p> <p>国際教育について、従来から行っている小学校の外国語、中学校英語の授業に英語助手を派遣して授業を行っていることを明文化した。</p> <p>地域と一体となった学校運営の推進で、PTAや学校評議委員について、おもしろ科学の実験祭典など地域の方の協力をいただき開かれた学校作りに努める。</p> <p>学校給食センターの充実ですが、平成25年から機械器具の年次的な整備を図る。</p> <p>教育相談や生徒指導の充実、いじめや不登校など生徒指導上の課題を抱えている児童生徒に対し、教育相談員を2名配置し対応する。</p> <p>教職員の資質と指導力向上のため、指導実習や授業交流などで授業改善と教材研究の推進を図る。外部研修への参加対応を図る。</p> <p>特別支援への対応、早期に学校生活の支援を行うため、介助員の配置を図る。</p> <p>少人数学級の推進について、平成24年から取り組んでいる事業であるが、今回項目立てした。</p> <p>高等学校教育の充実ですが、様々なご意見があったかと思います。</p> <p>間口確保や教育施設・設備の充実、多様な教育機会の充実を図り道教委への要望やまちづくりで教育環境の整備を支援するあり方を検討とした。</p> <p>中学校の学校現場へ高校の特色を理解してもらう。卒業後の就職までまちぐるみで支援の理解を深めることとした。</p>

アツを発言者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
石澤主幹	<p>食育については、現計画では栄養教諭の配置をした。給食センターの栄養士が退職し、栄養教諭を旭小学校に併任配置を行って学校給食の配食をしている。</p> <p>教育委員会だけではなく、経済部は地産地消や児童支援の幼児から成人までの栄養指導を含めて記述した。</p> <p>前回の協議ででていた体験学習などを盛り込んで明記してみたが、皆さんの意が表現されているかわかりませんが、よろしくお願ひしたい。</p>
伊藤委員	美幌は待機幼児はいないのか？
高木部長	受け入れは、まだまだ可能。
牧野委員	<p>小さい子については、ひまわり保育園はあるが、十分受け入れる場所がないのかもしれない。新制度に移行されたからといって何か変わるのか？</p>
牛島委員	認定保育園のことでしょうか？
高木部長	藤は新制度が良いと判断されたかもしれないが、大谷はまだ様子を見ているといったところであるかと思う。
石澤委員	いわれているところは0～3歳までの受け入れのところが必要とされていると思う。福祉の方で協議されるところである。
牧野委員	幼稚園では、札幌の時に障がい者を受け入れた場合に介助員は補助金が出たが
高木部長	私学助成で町ではない。
牧野委員	教材の一部とは、遊び場などの支援はないのか
石澤主幹	園児一人当たり3000円とかという支援であったかと
牧野委員	幼稚園にそうした遊び場をつくってしまった方がよいかと思う。
小室主幹	駅のぼっぼ屋の2階を木育広場にする計画がある。
牧野委員	ALTを使い切れてない。せつかくの授業で先生が使いこなせてないところが見られ差が出ている。
小室主幹	次の教職員の研修に関係する。
牧野委員	教職員の人事にも影響している。
石澤委員	<p>教職員の研修もあえて総合計画に載せていこうとするのは、教育長の執行方針にも話ししているからでもある。あわせて教育環境の充実では学校の適正な配置いわゆる統廃合については、協議会では触れていない。</p>

発 言 者	審議内 容 （発言内容、審議経過、結論等）
石澤主幹	一定程度の学校規模を保ちながら、適正な学校運営を進めるということにとどめている。
牧野委員	旭小学校の遊具は今年整備するのか
高木部長	今年遊具を撤去し、整備する
小田島委員	旭小の池が危ないと言い出している。
高木部長	美小は水を抜いている。 深いから危ないといわれるが、浅くすると色々問題もある。 経過を確認して、対処する
牧野委員	P T Aと評議委員を活用しながらとあるが具体的にどのようなことか？
石澤主幹	学校評価制度というのがあり、学校を評価する。子どもや保護者もアンケートをとるし、評議員も評価する。
牧野委員	学校づくりという意味で、評議委員は校長が選ぶ。学校の協力はするが評議委員はあまりいいような体制がとれていないのではないかと。
高木部長	仲良しこよしばかりでなく辛口の評議委員もいる。
牧野委員	P T Aと評議員と教育委員がもっと密に連携を図って行くことが望ましい。今まではそうでなかったのです。
高木部長	校長からも評議委員からの意見として教育委員会にも上がってきている
牛島委員	学校の情報もしっかり出していくことが大事である。
牧野委員	学校評議委員から幅広い意見をきくということが今までできてなかったので、具体的に意見を聞けるようにしてほしい。
牛島委員	P T Aともお互いに交流して意見交換してほしい。
浅野主事	地域資源の活用の表現で、水泳、スキー、スケートとありますが、博物館だとか環境教育なども含まれるのであれば、膨らましてはどうか？
高木部長	学芸員の教育活動として、大事な部分であるし評価できる場所である。活用する上で入れていってもよい。
伊藤委員	体育関係を強調されているが、博物館の環境教育も入れていったらよい
浅野主事	今後、東京オリンピックが、開催されることで、子ども達にも国際的な意識や英語教育等もどんどん取組が広がり意識も高まっていくと思う。 それと高校教育の施設の整備と教育の支援とあるが、項目の枠としては、二つに分けて記載してはどうか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牧野委員	<p>間口確保なののでしょうか？間口増なのか？今後、このままだと間口が足りなくなるのかもしれない。間口が足りないから北見に通わずことになる。道教委がどう考えるかであるが、農業の間口を確保するのか美幌高校として生き残っていくのかで大変なことになる。</p>
石澤主幹	<p>書き出しでは多様な教育機会ということでは、普通科もあり農業科もあるということで、4間口の高等学校が必要であるということである。</p>
高木部長	<p>道教委は実業科と普通科も統合してきていて、美幌は逆要望している。この辺が限界だと思うが定数120人を切ると間口が多いということになる。間口確保ということは必死に要望していかなければいけないと思う。</p>
牧野委員	<p>子どもはいるのに、その年度によって進学先が変わって人数が減ってしまうことで学校がなくなる。それはどうなのとを感じる。なくすことによって、大人達がそっちに行けあっちに行けということが子どもに影響を与える。そうしたことをちゃんと検証しておくことも必要ではないか。人数が減っても定員を少なくしてでも残していてもいいんじゃないかと思う。間口確保というと寂しい感じがする。地元子どもが残ってくれば間口確保もできるし、町のためにもなる。</p>
高木部長	<p>間口が減ってくると先生の確保も難しくなってくる。授業の内容も追いつかなくなる。今の間口確保は必須である。</p>
牛島委員	<p>推薦制度はあるけど、学校は使っていない。中学校と高校がもっと連携して、推薦してあげればよいと思う。</p>
牧野委員	<p>中学校1年から高校がアプローチしていかなければ遅い。</p>
牛島委員	<p>進学もよい、就職もいい、部活も頑張る。そうした魅力があればいい。</p>
牧野委員	<p>そこに経済的な支援もあればよい。津別なども支援している。授業公開というのはどういうことか。</p>
高木部長	<p>町内の小中学校で自分のやっている授業を公開して研修してきている。教職員の質を高めていくようにしている。</p>
小室主幹	<p>総合計画に教職員の指導力向上という項目が載るということはすごく重いと思う。教員の皆さんが見たら重く感じると思う。</p>
高木部長	<p>公開授業にしても、実践研修にしても費用がかかる。研修センターに派遣するにも予算も必要。学校側の要望もあるが継続的に支援する必要がある。</p>
浅野主事	<p>「育む」というテーマの中で、夏休みに学習支援という取組もされているが、体力の低下もそうであるが、学力低下も大きな課題になっている。計画の中に、そうした学校や地域でも学習支援についての取組を計画の中に入れていってもどうなのか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	<p>そこまで、入れていく必要もあるのかどうか。実際にやっているところもあるが、どこまで入れていくか。</p> <p>体力も投げたり握ったりは高い方であるが、平均すると低いということだと思う。</p>
牧野委員	<p>未就学児の子がどれだけ学習の基礎ができているかで、学校に上がると差が出てきている。</p>
高木部長	<p>できる子はいいと思う。できない子の基礎を上げていくことが大事だと思う。</p>
牧野委員	<p>学習の提供をしても、親の意識が低く来てほしいと思う子が参加してもらえていない。学年が上がってくるとどんどん差が出てくる。学校サポート事業も結果が身についているという成果をしっかりと出していかないとダメだと思う。</p>
沖崎委員	<p>学校は個別に説明して取り組んでいるところはある。</p>
小田島委員	<p>先生によって宿題が多すぎて勉強ができないということもある。</p>
牛島委員	<p>今は集中できない子がいて、そこで差が出てきている。</p>
牧野委員	<p>幼稚園では運動会で組体操とかできているのに、学校に上がると他の子と大きな差が出ている。保育園との差が出てくるということがある。</p>
伊藤委員	<p>得意なことから伸ばしていかないといけないし、やる気が出るまでが問題で、やる気が出れば伸びるから、勉強ができなくても心配するほどの問題ではない。個性を伸ばしてやることで自信をつけさせればよい。</p>
牛島委員	<p>集中してやれるようにしていくことで伸びると思う。</p>
高木部長	<p>体験させることが大事である</p>
牛島委員	<p>今の子は仲間をつくるのが苦手。</p>
伊藤委員	<p>コミュニケーションをとれるような場面をつくって人との関わりを持てるようにする事が大事</p> <p>小学生は良いところを伸ばしてやれば勉強はそんなに難しく考えなくてもよいと思う。</p>
牛島委員	<p>学習サポート事業については、少し触れておけるのであれば、入れていってよいと思う。</p>
牧野委員	<p>高校で島留学といってテレビでやっていたが、子ども達がきてそれをバックアップしていた。美幌高校も農業科があって、寮もあるのでもっと全国から高校に入るくらい支援してやって間口確保ではないけども、そうした取組もできたらよいのでないか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	今も、何人か他から在籍している子がいる。
牧野委員	兵庫からかどこからか来ているようにきく。
牛島委員	それが町に帰ってこなくても北海道で農業経営で残れば人材育成になるし大きな意味がある。
牧野委員	ふるさと納税に来た人に、美幌ではそういうことをしているという売りにもなる。
高木部長	女子寮はないが、民間の下宿なども利用されている。 スクールバスも基本、小中学校であるが、高校でも競歩遠足に支援したり、農業クラブも活躍していて、PRしたり激励会をやったり、できる限り支援してあげるようにしている。 小中高の連携が大切だと校長先生もいっているので、いい方向に変わっていくと思う。
牧野委員	高校のバスケットも優勝したし頑張っているので、高校生が小学生を教えてやってもいいのかと思う。
牛島委員	町が少しでもそうした支援をすることによって、全国から高校生が集まるようになってくると思う。
高木部長	金銭的な支援は難しいところもあるが、町の高校なので、できる範囲での支援はしていきたい。
浅野主事	計画の中では、町としての高校への支援のあり方の検討という項目もあるのでその中で、また具体的に盛り込んでいけるのかと思いますので、そうした整理でよいかと思う。
高木部長	栄養教諭は道の職員1名を給食センターに配置して、身分的には旭小教諭であるが、少しずつ学校と関わりをもってやろうとしている。
牧野委員	藤でも新制度で給食という話も聞いているが、高校とかも連携とかできないものか。人数もあると思うが。
高木部長	給食センターは3000食作れるとしていたが、色々基準も変わって施設では1800食が限界かと思う。
浅野主事	小中学校での食育の充実というところで、民生との絡みもあると思うが、幼児期から成人までの取り組みを進めますとある。その繋がりはどうなのか？ 学校で、どこまでという感じがするので、項目としての繋がりとして地産地消と小中学校でのかかわりくらいで納めてはどうなのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
石澤主幹	小中学校の教育に入っていたものを食育にもってきた。食育といった観点で捉えていった方がよいので、もう少し書き方をひねってみる。
浅野主事	Aの項目の書き方を少し考えてみた方がよい
牧野委員	Bの栄養教諭の配置もどこにはいるのか
沖崎委員	食育は民生でもそれぞれにあるのでは
石澤主幹	食育の項目から小中学校の課題に来ているので、表現を小中学校での取組に合うようにする。
高木部長	Cの項目の表現を少しひねって、小中学校の教育に限っての表現にしていく。